

シーズヒーターを組み込んだ製品と技術のご紹介

角 沢 康 弘 (すみさわ やすひろ) 新熱工業株式会社 営業技術部 部長

要約 新熱工業は工業用シーズヒーターの専門メーカーとして“熱”に関する課題をお客様と一緒に考え、目的、用途、環境に応じた解決方法のご提案に注力してまいりました。「新熱工業のこの製品があるからこそ!」と感じていただけるような価値の高い製品づくりを目指しています。本稿では当社の概要とシーズヒーターを組み込んだ製品や技術をご紹介します。

1. はじめに

新熱工業株式会社は1982年の創業以来、工業用シーズヒーターの専門メーカーとして様々な業界にオーダーメイドのシーズヒーターを提供してきました。

当社は茨城県ひたちなか市にあります。ひたちなか市は県の中心からやや北東に位置し、県庁所在地である水戸市の北隣の市です。春のネモフィラや秋のコキアで有名な国営ひたち海浜公園が会社のすぐ近くにあり、ほしいもの生産地としても全国有数の場所です。

工業用のシーズヒーターやシーズヒーターを使用した各種加熱器の開発、設計、製造、販売までを自社工場で一貫して行なっています。



図1 本社・技術開発センター

お客様の課題解決のため、目的や用途、仕様に合わせて、1本からオーダーメイドで製作することを得意としており、少量多品種の製造に対して柔軟に対応できる生産体制を整えています。

今回は当社の基幹製品であるシーズヒーターや加熱器製品の特長や技術をご紹介します。

2. シーズヒーター

基幹製品であるシーズヒーターについて、当社の特徴や製品をいくつかご紹介いたします。

2.1 シーズヒーター

最大の特徴は、最長12mまでの長いシーズヒーターを製作することが可能なことです。

ディスプレイ製造装置向けの大型ホットプレート用途では、長いヒーターを使うことにより、少ないヒーター本数で構成することが可能となります。

その他、大型タンクの外周を加熱する用途や大型の電気炉用途などで長尺ヒーターを広く活用いただいています。

もう一つの特徴としては、複雑な曲げ加工を得意としていることです。狭いスペースにヒーターを収めたい場合などヒーター自体をコンパクトにしたいご要望にお応えするため、最適な曲げ形状を設計してご提案しています。

ヒーターの種類については、シーズヒーターやカートリッジヒーター、フィンヒーター、板フランジヒーター